

柳沢 郷土史講座

御門訴事件150年

～江戸から明治、この地域の人々は何を考え、行動したのか～

来年、御門訴事件から150年になります。社会の在り方が大きく変わる時期、人々は何を求めたのでしょうか。事件の背景や経過、その後を見つめます。

時 日曜日14時～16時半

場 柳沢公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 33人(申込順)※公開で実施する第4回は80人

申 12月2日(月)10時から電話かメールで柳沢公民館へ
※2月にフィールドワークを行う予定です。

※1月に御門訴事件についてのロビー展示を行います。
※御門訴事件とは

武蔵野新田12か村の人々が、明治3年1月、貯蔵米の供出に反対して、品川県庁への門訴を行いました。

回	内容	内容	講師
1	12月15日	江戸中期の新田開発から明治にかけての農民の暮らし	孤島法夫・西田昭司・増田恵津子(御門訴事件を伝えてゆく会)
2	12月22日	門訴の発端と事件の経過～御門訴事件とは?～	
3	1月19日	史料から考える御門訴事件	
4	1月26日	【公開講演会】幕末維新期の村と百姓	渡辺尚志(一橋大学大学院社会学研究科教授)

柳沢 下野谷遺跡から学ぶ

現代につながる縄文人の暮らし・知恵・芸術

下野谷遺跡にも住んでいた縄文人の暮らしをのぞいてみませんか。私たちとのつながりを考え、縄文土器づくりも体験します。

場 柳沢公民館 ※第2回は郷土資料室、第5回は下野谷遺跡・東伏見市民集会所

対 市内在住・在勤・在学者

定 15人(申込多数の場合は抽選)

¥ 500円(粘土代・文様の縄代)

申 12月27日(金)17時までに電話で柳沢公民館へ
※縄文土器は電気窯で素焼きします。野焼きではありません。



回	内容	内容	講師
1	1月12日(日)10時～12時	下野谷遺跡と縄文時代の暮らし①「集落、衣食住、生活の知恵」	西東京市教育部社会教育課職員
2	1月19日(日)10時～12時	下野谷遺跡と縄文時代の文化①「思考、技、芸術、感性～縄文土器の観察と文様の縄作り～」	東京都埋蔵文化財センター職員
3	1月25日(土)10時～16時	下野谷遺跡と縄文時代の文化②「思考、技、芸術、感性～縄文土器づくり～」	
4	2月8日(土)10時～12時半	下野谷遺跡と縄文時代の暮らし②「下野谷集落の立地、竪穴式住居、冬の暮らし」	都築恵美子(西東京市文化財保護審議会委員)
5	2月29日(土)13時～15時	下野谷遺跡の縄文時代「現在から未来へ～自作の縄文土器を囲んで語ろう～」	西東京市教育部社会教育課職員

谷戸 日本の文化を学ぶ講座

「水引細工・しめ縄づくり」を学びませんか

～もうすぐお正月!!～

水引による小物づくりと真菰で手づくりのしめ飾りを作りませんか。

時 土曜日

場 谷戸公民館

対 市内在住・在勤者

定 20人(申込順)

¥ 3,000円(材料費)

持 エプロン・カッターナイフ・ハサミ・ラジオペンチ

定規・目打ち

申 12月2日(月)10時から電話で谷戸公民館へ



回	日時	内容	講師
1	12月14日13時～16時	正月用小物づくり(水引を使って装飾品を作ります)	梶 政華(政華流水引アート主宰)
2	12月21日12時～16時	真菰を使って縄を編み、手づくりのしめ縄を作ります	井上美由紀・小松高子(NPO法人地球と共に生きる会)

田無 映像から見る現代

見たことのない映像を観る

国内未公開のフィクション、ドキュメンタリーなどの映像作品の鑑賞と話し合いのワークショップです。全3回です。(1回のみ参加可)

時 12月9日(月)・16日(月)・24日(火)10時～12時

場 田無公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 各回15人(申込順)

講 渡邊一孝(映画プロデューサー)

申 12月2日(月)9時から電話かメールで田無公民館へ

【報告】田無公民館主催「地域から、孤立をなくすヒント」をなくすヒント2

令和元年7月7日～7月21日(全3回)実施

10代から70代の「プログラミング」や「ひきこもり」などの若者支援に関心がある延べ73人が参加しました。

第1回は、その講師が主宰する「オーダー道場」の「U」(※の取り組みから「居心地のよい」コミュニケーションを作るには「ルール作り」や「ときには毅然とした態度も必要だ」と学びました。また、「プログラミング教育ロボット」オ

【報告】芝久保公民館主催「2020パリンピック講座」

令和元年9月18日・10月2日(全3回)

全3回の講座最終日、南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」第2体育室にポッチャの仮設コートを用意しました。22人の参加者は次第にポッチャの楽しさや高度な作戦に夢中になりました。指導にあたるのは脳性まひの障がいがある秋元講師です。2回目の講義で彼女の子ども時代から現在までのさまざまな体験を聴き、ロンドンパ

「報告」田無公民館主催「地域から、孤立をなくすヒント」をなくすヒント2

第2回は「川崎殺傷事件」直後、「ひきこもり」への偏見を助長するような報道に対して声明文を出した恩田講師の思いを知り、当事者に対する偏見や誤解を払拭することができました。

第3回は「オンラインボランティア」という新しい取り組みや、講師が運営する「場」について知り、地域でできそうなことへ一歩踏み出す機会となりました。

「プログラミングを身近に感

「報告」芝久保公民館主催「2020パリンピック講座」

パリンピック出場時の映像を見ました。いつも前向きに進んできた彼女自身が電動車いすと専用の靴でボールを蹴って転がす演技に、みな夢中になりました。視覚障がいがある竹内講師もガイドヘルパーの指示に従い、ゲーム参加です。彼女は長く福祉施設で相談業務をした後、新しい道に進んでいます。ゲームの後、コートの脇でマッサージ体験コーナーを開設し、相手の話を聞きながらマッサージをしてくれました。大好評でした。

参加した市民、講師、ヘル



第2回講師恩田夏絵さん(左)とがそのさん(右)

「報告」田無公民館主催「地域から、孤立をなくすヒント」をなくすヒント2

第2回は「川崎殺傷事件」直後、「ひきこもり」への偏見を助長するよう報道に対して声明文を出した恩田講師の思いを知り、当事者に対する偏見や誤解を払拭することができました。

第3回は「オンラインボランティア」という新しい取り組みや、講師が運営する「場」について知り、地域でできそうなことへ一歩踏み出す機会となりました。

「プログラミングを身近に感

「報告」芝久保公民館主催「2020パリンピック講座」

パリンピック出場時の映像を見ました。いつも前向きに進んできた彼女自身が電動車いすと専用の靴でボールを蹴って転がす演技に、みな夢中になりました。視覚障がいがある竹内講師もガイドヘルパーの指示に従い、ゲーム参加です。彼女は長く福祉施設で相談業務をした後、新しい道に進んでいます。ゲームの後、コートの脇でマッサージ体験コーナーを開設し、相手の話を聞きながらマッサージをしてくれました。大好評でした。

参加した市民、講師、ヘル

柳沢 ムービールーム柳沢

場 柳沢公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 50人(申込順)

※原則として1人で複数の申し込みはできません。開場時間は上映開始時間の30分前です。

「拳銃無頼帖 抜き射ちの竜」

(1960年/日本/1時間26分)

12月11日(水)14時～

監督:野口博志
出演:赤木圭一郎 浅丘ルリ子 戸川 幸夫
申 12月2日(月)9時から平日9時～17時に電話で柳沢公民館へ

【冬休み企画】「カンフー・パンダ2」

(2011年/アメリカ/1時間30分) 《吹き替え》

12月25日(水)14時～

監督:ジェニファー・ユー
声の出演:笹野高史 木村佳乃 ほか
申 12月12日(木)9時から平日9時～17時に電話で柳沢公民館へ

メールでの講座申込方法

アドレス:1面参照
件名:講座名
本文:氏名・電話番号・住所・年代
※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。

「報告」田無公民館主催「地域から、孤立をなくすヒント」をなくすヒント2

第2回は「川崎殺傷事件」直後、「ひきこもり」への偏見を助長するよう報道に対して声明文を出した恩田講師の思いを知り、当事者に対する偏見や誤解を払拭することができました。

第3回は「オンラインボランティア」という新しい取り組みや、講師が運営する「場」について知り、地域でできそうなことへ一歩踏み出す機会となりました。

「プログラミングを身近に感

「報告」芝久保公民館主催「2020パリンピック講座」

パリンピック出場時の映像を見ました。いつも前向きに進んできた彼女自身が電動車いすと専用の靴でボールを蹴って転がす演技に、みな夢中になりました。視覚障がいがある竹内講師もガイドヘルパーの指示に従い、ゲーム参加です。彼女は長く福祉施設で相談業務をした後、新しい道に進んでいます。ゲームの後、コートの脇でマッサージ体験コーナーを開設し、相手の話を聞きながらマッサージをしてくれました。大好評でした。

参加した市民、講師、ヘル

「ハンガリー狂詩曲」

「わが祖国」

私がクラシック音楽に興味を持ち始めたきっかけは、就職して寮生活に入り、そこで知り合った友達にクラシック音楽の良さを教えてもらったことである。当時、少ない給料の中からステレオを購入し、毎月1枚直径30cmのレコードを買い、好きな曲に入り込んだ。最初はペーターベンヤシューベルトなどの超有名作曲家の音楽から入ったが、そのうちに徐々に東欧の音楽にも入っていった。ハンガリーやチェコの作曲家の音楽はその地方に伝わる民族音楽の要素を取り込んだもので、何とも言えない憂鬱を感じるところに惹かれた。ハンガリーと言えばピアノの魔術師リストであり、有名な曲としては「ハンガリー狂詩曲」などで、チェコではスメタナの「わが祖国」など枚挙にいとまがなく、いつかそんな国に行ってみたいと思うようになった。

会社生活も長くなり、ある程度自由が得られるようになりこれらの国を訪れた。なかでも悠久のドナウ川が流れるハンガリーのブダペストやチェコのプラハなどを回った時の感動は忘れられない。これらの国はその民族性と共に悲しい歴史を持っていることも私の心に訴えかけたのかもしれない。

植坂良 (栄町在住)